



発行所 宗教新聞社
東京都新宿区新宿5-13-2
〒160-0022
電話 03-3353-2940(代)
FAX 03-3363-5182
郵便振替口座 00120-9-22704
URL http://www.religion-news.jp
©宗教新聞社 2024

購読料(税込)
1部 500円
半年 3,000円(千円)
年間 6,000円(千円)



迎春

(社是)
一、精神革命の旗手
一、宗教連合の具現
一、地上天国の建設

●新年のご挨拶

本紙代表 石丸志信

令和6年甲辰の年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
皆様方も、神仏の御前であつて国家の安寧、衆生の救済、世界平和の祈りを捧げて新たな一年を出発されたことと思います。
多くの皆さま、年の初めには近隣の神社や仏閣へ初詣に出かけ、清く澄んだ空気の中で厳肅な心で神仏に手を合わせ祈つています。これは、人々の自然な宗教心の表れであり、この国の文化を支えてきた美しきも尊い伝統であると思ひます。
昨年を振り返れば、国内外の情勢は決して平穏であつたとは言えません。テロリストによつて多くの人命が奪われました。各地の戦争あるいは紛争もまだ収まる気配がありません。飢饉によつて失われる幼い生命もあります。一方で我が国を取り巻く周辺諸国の動向も穏やかならざるものがあります。国内も不道徳で理不尽な事件や出来事が目につきました。公共精神が希薄になり、声高な自己主張だけが世論であるかのように取りざたされるのは、民主主義の根幹を揺るがしかねません。

二千年前、ナザレのイエスは、人々に教えを説き、癒やしの業を行う忙しい日々の中でも、ひとり山に退き夜を徹して祈る時がありました。人類救済に努めてきた各宗教の開祖たちも、深い祈りを背景に驚くべき業を成し、多くの人々を導きました。彼らは、道を開くまでにも人知れず深き祈りと瞑想の日々を送り、あるいは難行苦行の期間を越えて得られた天啓を携へ世に現れて、人々のため、また国家世界のために生涯を捧げてこられたはずです。俗世に生きる人々も、己の力ではいかんともしがたい困難や困難に直面するとき、ただ祈るしかないことを経験させられます。そのような状況に立たされる人々にとつて、先駆けて苦難の道を行つた宗教指導者の歩みが、どれほど力になるか分りません。弱者が先駆者の足跡をたどつて行けば希望の門が開かれるからです。かつてイスラエル民族が奴隷のくびきから解放されエジプトを出て約束の地に向かう途上、夜は火の柱、昼は雲の柱が彼らを導いたとあります。その現象が、一体何を意味するのか定かではありませんが、荒野を渡る「神の民」は、自然現象の中にも創造主なる神の働きを見出した。たとへば目には見えなことも苦難の道を共に歩む神の存在を感じながら、苦難を越えていったのです。これは一民族の歴史物語に留まるばかりか、今日の私たちに多く示唆を与えてくれます。

内憂外患にさらされる国と民にとつて、祈りがどれほど重要でしょうか。いかなる時にも人々の平安を祈る宗教指導者の存在がどれほど尊いでしょうか。宗教が軽視され、物質的なことに心を奪われがちな世の中にあつてこそ、彼らの祈りが必要となります。3・11東日本大震災のとき「Pray for JAPAN」の呼び声のもと世界から届けられた祈りにどれだけ人々は励まされたことでしょうか。国を憂ひ、民を慈しむ宗教者の祈りが、この国にはもう少し必要かもしれません。干支の甲辰は成長発展を意味する辰と物事の始まりを意味する甲の文字が合わさつたもので、一粒の種が大地の栄養を十分に吸収して芽を吹き、すくすくと成長する様をあらわすともいわれます。また、これまで報いられることなく密かに積み重ねられた努力がようやく形となり実りをもたらされる時でもあると言ひます。

これまで各地で人知れず祈つてきた誠実な祈りがあれば、これからは教派宗派の違いを超えて一つになるべきとき、荒野で彷徨する民の希望の灯となり道しるべとなるべきときかもしれません。こうして生まれてくる宗教者の祈りの束は、火の柱、雲の柱となり、天と地を結び幸運と繁栄をもたらす龍神のごとく、この国に新たな運勢をもたらすことになるのではないかと、初夢のごとき夢想をする年頭です。皆様のご多幸を祈りつつ挨拶に代えさせていただきます。

謹賀新年

書・繁本香菜氏
(東洋書画芸術研究院理事長)



石清水八幡宮
宮司 田中恆清
〒614-8388 京都府・橿原市八幡高坊三〇〇一
電話 〇七五-九八二-三〇〇一

生田神社
名譽宮司 加藤隆久
宮司 日置春文
神戸市中央区下山手通二丁目二番一〇号
電話 〇七八-(三二一)三八五五

寒川神社
一宮 利根康教
〒253-0195 神奈川県高津郡寒川町高田三九二一六
電話 〇四六-七五-〇〇〇四

神道禊教
教主 坂田安弘
管長 坂田安弘
東京牛込 真清浄寺 貫主
大僧正 日光
〒162-0812 東京都新宿区西五軒町一三二二
電話 〇三三-六〇〇-九七二二
ケイタイ 〇八〇-(二〇五)〇〇八八

奈良泰秀
NPO法人「はんなり文明研究所」代表
(※ 天ノ岩神社宮司兼大土山本宮 宮司)
伝統文化を新しい文明の研究所
〒222-0034 事務局 横浜市港北区原町六八二
電話 〇四五-(四八)九三三六
FAX 〇四五-(四九)七四二八
e-mail info@nippon-bunmei.jp
http://www.nippon-bunmei.jp

師岡熊野神社
宮司 石川正人
〒222-0002 横浜市港北区藤岡町一三三七

聴行庵
住職 東和空
〒222-0002 横浜市港北区藤岡町一三三七

全国浅間神社総本宮
富士山 浅間大社
本宮 甲田吉孝
静岡県富士市宮町一〇二
電話 〇五四-四四(二七)三〇二一
FAX 〇五四-四四(二七)三七八一

千束八幡神社(洗足池八幡宮)
名譽宮司 惠良彰親
宮司 惠良信親
大田区南千束一三三三二一〇
電話 〇三三-七二七-七五八四

秩父今宮神社
大宮山 八六宮(八六龍王宮)
宮司 塩谷崇之
〒368-0043 秩父市中町一六一〇
電話 〇四九-四四(三三)三三八六

鶴沼伏見稲荷神社
宮司 田村進

大宮八幡宮
宮司 鎌田紀彦
〒168-8570 東京都杉並区大宮一三一

阪井聖遼

常陸國 昭岩天満宮
齋主 神永義彦
御岩神社

武相総鎮護 座間神社
宮司 山本俊昭
神奈川県座間市座間一三三三三三
電話 〇四六-(二五)二〇四三

宗教法人 庚申会
龍神総宮社
代表役員 祭主 辻本公俊
〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄岡谷二
電話 〇七七四-(三三)八八八八

深川の八幡様
富岡八幡宮
宮司 丸山聡一
〒135-0047 東京都江東区富岡一〇〇三三
電話 〇三(三六四)三三三三

十